

2014年テーマ別時事問題〈経済・国際〉

- 1 (1) ①ア ②イ (2) 1
(3) 日本銀行 (4) 電子マネー
(5) ウ (6) イ
(7) 需要量
(8) (例) 国民の生活に与える影響が大きいから。
- 2 (1) (例) 所得に関係なく税率が一定だから。
(2) ア (3) ①ア ②エ
(4) ①ア ②ウ (5) 3D
- 3 (1) ①EU ②ユーロ ③ウ
(2) スコットランド
(3) ①ソチ
②ソビエト連邦〔ソビエト社会主義共和国連邦〕 ③マルタ会談
④I プーチン II クリミア〔クリム〕
- 4 (1) ①2014年3月 ②(次の月に) (例) 消費税の税率が上がるため、駆け込みで買い物をする人が多かったから。 ③ア
(2) ①株主 ②上昇 ③エ

解説

- 1 (1) ①消費税や酒税は、税を負担する人と税を納める人が異なる間接税である。
(5) 消費税は、1989年に初めて導入されたときの税率は3%であった。その後1997年に税率が5%、2014年4月に8%となった。
(6) 住民税が課税されていない人を対象に、臨時福祉給付金が支給されている。
- 2 (3) ②配当とは、株主が会社の利益の一部を受け取ること。
(4) ②不景気のとき、政府は経済を活性化させるために、減税を行ったり、公共事業への支出を増やしたりする。
(5) 3Dプリンターは、樹脂を加工して立体を作ることができる。
- 3 (3) ②ソビエト連邦は1991年に解体され、ロシア連邦やウクライナなどの各共和国が、主権国家として独立した。
- 4 (1) ③1990年代以降販売額が減少しているアが百貨店、近年増加しているウがコンビニエンスストア、残るイが大型スーパー。
(2) ②業績が下がると、株価は下落する。
③円安になると、日本への旅行価格が下がるため、海外からの旅行者が増加する。